

第3回教育委員会（定例）議事録

1 開 会

令和3年5月19日（水） 14時00分

2 場 所

市役所第2庁舎3階 2-301・302会議室

3 会議に出席した委員

教育長 丹後 政俊

委 員 西田 正志

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 山本 恭子

4 会議に出席した職員

部長（学校教育担当） 稲山 悟

部長（生涯教育担当） 小林 康弘

次 長 西羅 忠和

次長兼教育研究所長 酒井 宏

教育総務課長 中野 悟

学 事 課 長 山本 毅

学校教育課長 岸田 幸雄

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 石田 哲也

こども未来課長 竹見 朋子

社会教育課長 谷掛 昭二

文化財課長 村上 由樹

中央図書館長 小島 理三

田園交響ホール館長 小林 純一

総 務 課 長 河南 剛

公 民 館 長 大路 和浩

学校教育課副課長 采女 達也

教育研究所副所長 大野 圭一

教育総務課係長 田中 真紀子

5 議事日程及び議案

別紙の通り

6 開会宣言

14時09分

7 会 期

（自）令和3年5月19日

（至）令和3年5月19日 1日間

8 会議録署名委員名簿

中村 貴子 委員

9 閉 会

15時46分

丹後教育長	日程第1、令和3年度第1、2回会議録の報告、承認について意見等はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。
丹後教育長	日程第2、会議録署名委員は2番中村委員とする。
丹後教育長	日程第3、会期は令和3年5月19日、本日1日間とする。
丹後教育長	日程第4、議案に移る。議案第2号の「令和3年度6月補正予算案を市長に提案することについて」教育総務課説明を求める。
中野課長	《議案書に基づき説明》
中村委員	多紀児童クラブの利用者数増による空気清浄機購入とのことであるが、何名増に伴う購入なのか。休館中の施設や学校で使っていない空気清浄機をまわして使用はできないのか。
竹見課長	利用者は、令和2年度40名、令和3年度は57名になり17名増えた。1クラス40名体制で、現在2クラスで運営している。4月から2部屋で運営しているので空気清浄機は即必要であった。今は、味間児童クラブで夏季休業中に増えるクラス分の空気清浄機を臨時的に使用しており、夏季休業が始まる前の6月補正予算で購入したいと考えている。
中村委員	コロナ禍が長引く中、何とか工夫して予算の節減に努めてほしい。
垣内委員	関連して、学校園の消毒作業の状況について教えてほしい。
酒井次長	「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」～「学校の新しい生活様式」～で、昨年度途中から、通常の清掃活動で良いという国の方針も出た。更に、4月末に出た新バージョンでは、今まで以上の必要性はないという方向も出ている。学校では必要最小限の消毒をしている状況である。
垣内委員	光触媒による消毒をすると1年間効果があると聞いた。教職員に負担がかかっているのであれば、その労力のこともあるが、児童生徒の安全性を確保するためにも役立つのではないかと思うので、研究を提案する。
丹後教育長	研究はしていく。
丹後教育長	議案第2号「令和3年度6月補正予算案を市長に提案することについて」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。

丹後教育長	全員賛成で、議案第2号の「令和3年度6月補正予算案を市長に提案することについて」原案どおり可決する。
丹後教育長	議案第3号の「丹波篠山市教育支援委員会委員の委嘱について」学校教育課説明を求める。
岸田課長	《議案書に基づき説明》
西田委員	9番の特別支援教育コーディネーター代表は、学校生活支援教員であるのか。
岸田課長	令和2年度も3年度も学校生活支援教員である。
西田委員	令和2年度にコーディネーター代表であった方は、令和3年度は通級指導担当になっている。この3名はもちろん学校の中でコーディネーターをされていると思うが、学校生活支援教員の中から選ばれていると思う。この方が不適切という意味ではなく、一般的に校内で特別支援教育のコーディネーターをされている方が出てこないのかなという疑問がある。
岸田課長	9番の方は校内で特別支援教育のコーディネーターをされていると認識している。専門的見地からという、学校生活支援教員もされているということで依頼をしている。
西田委員	くり返しになるが、一般的なコーディネーターをされている方が、この委員の中に入られてはどうかという提案であるので今後検討いただきたい。
岸田課長	来年度に向けて検討する。
西田委員	参考資料1頁の日程を見ると、教育支援委員会の答申は11月に出る。毎年4月の校長会でこの日程について担当から説明があるが、答申がだんだん形骸化とまでは言わないが、この後からでも何とかなるという学校の体質が少し見えるように思う。逆を返すと、7、8月の夏季休業中に学校は対象の児童生徒について方向性を出し、保護者と理解を得るようなことをしなければいけないのに、それを先送りにし、本当はゴールであるはずの答申がずれ、最終的には県へ提出する学級編成にも影響を及ぼしている気がする。このことについて事務局としてどう考えているか。
酒井次長	西田委員が言われたことは、事務局としても少し感じている部分もある。手続き及びその後の事務作業についての日程を確実に行うためには、日程に添って学校園と協力しながら進めていく必要があるので、日程厳守を学校にも要求していく。
丹後教育長	議案第3号の「丹波篠山市教育支援委員会委員の委嘱について」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第3号の「丹波篠山市教育支援委員会委員の委嘱について」原案どおり可決する。

丹後教育長	議案第4号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」中央図書館説明を求める。
小島館長	《議案書に基づき説明》
丹後教育長	議案第4号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」質疑はないか。
丹後教育長	質疑はないようなので、議案第4号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」採決する。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第4号の「丹波篠山市図書館協議会委員の委嘱について」可決する。
丹後教育長	日程第5、承認事項に移る。承認事項第2号「学校運営協議会委員の任命について」教育研究所説明を求める。
大野副所長	《議案書に基づき説明》
中村委員	毎年、市に学校に対する要望書が提出されていると思うが、各学校の運営協議会で周知し議論し、自分たちの地域の課題を話し合っって早期解決に繋げてほしい。 また、委員については、移住者や活動する若者などを積極的に登用し様々な意見を取り入れて新しい時代に応じた取り組みに向かってほしい。
西田委員	構成員名簿が出てきていない学校を教えてほしい。
大野副所長	4月定例教育委員会で承認いただいた学校は、城北畑小と西紀中である。まだの学校は、八上小、岡野小、多紀小、西紀小、西紀北小、大山小、今田中、篠山養護学校である。
西田委員	事務手続きとして、6月に承認が出てくるということでもいいのか。
大野副所長	そのとおりである。
西田委員	コミュニティ・スクールの活動をコーディネートできる方に委員になっていただくようお願いしているので、そういう方がメンバーに入られたら事務局は是非サポートしてほしい。新規の方は、意見を出すことについて気にされている様子もあり、私が担当をしている時には、どんどん意見も出してほしい、それが学校の力になるのだと伝えたりもしていた。新規の方が活動しやすいような指導とサポートをしていただきたい。 コロナ禍の中で、学校運営、学校経営をコロナの為に閉じてしまった学校と、その条件下でも工夫をした学校との差がついたと思う。特にコミュニティ・スクールは制度開始から年数も経ち、行事をするという感じになっている。10万円の委託金を有効に活用してほしい。コロナ禍であるが、できるこ

大野副所長	とを一生懸命してもらおうという指導を事務局からもしていただきたい。 いただいたご意見については、校長会などで話をしていく。
丹後教育長 全委員 丹後教育長	承認第2号の「学校運営協議会委員の任命について」異議はないか。 異議なし。 全員賛成で、承認第2号の「学校運営協議会委員の任命について」を承認する。
丹後教育長	日程第6、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」教育総務課報告を 求める。
田中係長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	私も寄贈式に参加した。寄付者はこの資料を市に預かっていただきほっと したと仰っていた。我々は大切に保存活用していかなければいけない。
垣内委員 小畠館長	どれくらいの保管スペースが必要なのか。 量は、長さ約50cmの箱が32箱である。中央図書館会議室で市史編さん業 務をしているが、そちらにまず保管し調査をしていく。
垣内委員 丹後教育長	大切な資料なので保管管理に十分気を付け、大事に活用してほしい。 この資料は専門家の調査も入っており、今編さん中の市史にも大変有効だ と考える。保管も十分気をつけていく。
丹後教育長	報告2「後援名義の承認について」教育総務課報告を求める。
田中係長	《議案書に基づき報告》
西田委員 田中係長	No.6、7はどのような事業なのか。 No.6「女性のためのスキルアップセミナー」は、丹波県民局「女性の活躍 応援！起業に向けたスキルアップセミナー」である。「構想を商品またはサ ービスを具体化させる」、「商品も魅力を伝える言葉」、「ホームページやチ ラシで使えるデザイン基礎講座」、「プレゼンスライドの作り方基礎講座」 などの講義がある。 No.7「2021年度 アースレンジャー体験会」は、自然の中での様々な「体験」 を通して、自ら感じる「感性」、人や自然、自分を取りまく環境とのつなが りの中で「考える力」、自ら主体的に「行動する力」を育てることを目指し た自然体験教室の体験会である。
丹後教育長	報告3「令和4年度使用教科用図書採択事務日程予定について」学事課説 明を求める。

山本課長	《議案書に基づき報告》
垣内委員	GIGA スクール構想もあって、一人一台パソコンも行き渡っていると思うが、今回の教科用図書採択は電子教科書ではなく、紙ベースの教科書の採択であるのではと思うが、電子教科書による補助の有無も加味されて採択されるのか。それを加味されるのであれば、丹波地区で導入されている一人一台パソコンとの互換性なども加味されるのか。
酒井次長	教科書用図書採択は、国の検定を受けたものの中から内容によって選定することが大前提である。教科書が教師用指導書や、児童生徒に対する教科書とそれに伴うデジタル的な電子媒体等がどう整理されているかということについては、検定の時点ではわかっていない部分もある。まずは児童生徒が学ぶ内容が、今の丹波地区の児童生徒につけさせたい学力に合っているのかが中心に選定されてきている。採択に電子媒体などの部分が大きなウエイトを占めることになってくると、採択本来の趣旨と異なる部分に重きが置かれる可能性が出てくる。 児童生徒用の学習指導用デジタル図書については、試験的な導入を進めているが、現在のデジタル教科書は、どのデバイスであっても対応できるクラウド型が主流になってきているので、提供するソフトや端末には影響されないことがメーカーとしては大前提となっており、採択を左右するような項目には上がってこないと事務局としては思っている。
中村委員	ICT化が進む中、デジタル教科書の導入は急務である。紙の教科書に無い良さもあり更に活用が進むと思われる。重い紙の教科書からの速やかな移行を採択委員会では是非協議いただきたい。使わない教科書を重いランドセルに入れて持ち運ぶことは避けてほしい。 また、民間業者の子どもの興味を引くタブレット教材は優れた点が多く、研究材料にしてほしい。
丹後教育長	報告 4「丹波篠山市結核対策委員会委員の委嘱について」学事課説明を求める。
山本課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告 5「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課報告を求める。
采女副課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告 6「令和 3 年度 5 月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課報告を求める。

酒井次長	《議案書に基づき報告》
西田委員	県教育委員会からの綱紀粛正の通知は夏季休業前と年末の年 2 回であったと思うが、今回のそれはそれとは別のものなのか。
酒井次長	今回の県教育委員会からの通知は、時期としては異例である。これは昨年 12 月に県教育委員会が発表した教職員の処分が 1 日に 7 人の教職員に処分を下した内容を踏まえて、その対策について県教育委員会が 5 ヶ月かけて防止に向けて取組をした結果、この時期での各市町への周知と聞いている。
中村委員	<p>「感染リスク低減に向けた学校運営のガイドライン」の 5 月 12 日改訂について、迅速な対応に感謝する。感染源については未知であり今後も感染対策については、常に新しい情報を市民への発信を願う。</p> <p>コロナの脅威が子どもたちにも及んで来た。オンライン授業に関する環境整備は昨年度にスピーディーに進めていただいた。一人一台パソコンを所有することが目的にならず、いかに活用し授業を成立させるかを市民は望んでいる。教育研究所の更なる取組に期待している。</p> <p>ガイドライン改訂や消毒の対応等、コロナ禍の対応は通常では無い作業が多く、教職員も事務局も大変だと察するが引き続きよろしくお願ひしたい。</p>
丹後教育長	<p>報告 7、報告 8 は関連事項のため続けて報告し、質疑についてはまとめて行うこととする。</p> <p>報告 7「令和 2 年度丹波篠山市立中学校卒業時の進学状況について」、報告 8「丹波篠山市中高連絡会について」学校教育課報告を求める。</p>
采女副課長	《議案書に基づき報告》
西羅次長	《議案書に基づき報告》
中村委員	<p>速やかな取組に感謝する。8 年間市内高校の保護者である者の一意見として聞いていただきたい。</p> <p>選択肢に無いから市外に出て行くのかと思っていた。高校説明会で「こんな学校にしたい」という先生方の熱意、宣伝力が市外高校に劣っていると感じる。「ここだから」の良さが、生徒と保護者のハートに響いていないように思う。</p> <p>子どもたちが高校生活で何を求めるのかを自分の子にも聞いてみると、自分の可能性や夢、志が高められる環境、勉強仲間、活動仲間の中に身を置くことを求めている。何に関しても一人で戦うのは本当に苦しい。</p> <p>中学校教職員には、三者面談で個々の可能性を広げられる高校を紹介していただいている。市内中学校の教職員に選んでもらえる高校であってほしい。</p> <p>また、子どもたちは、先輩からの「都会の大きな学校で、洗練された人に出会えるよ」、「うちの学校はいいよ」、「通学も慣れてくるよ」、という</p>

垣内委員	<p>アドバイスも進路決定に大きく左右している気がする。ただ「自宅から近いから」という理由で進学するというのでは悲しすぎると感じている。</p> <p>いろんな取組にまず感謝する。その上で述べるが、とても危機的な状況であるが、背水の陣をとっているとはうつらない部分がある。例えば、過去6年の進学状況の数字は、市内高校はマイナスのイメージにとられるが、これを公表することはできないか。かなり危機的な状況であるということ、高校と中学校の間で連携して課題を共有するという事は大事だとは思いますが、地域の課題であるので、地域ぐるみで背水の陣をしつというか、踏ん張りが必要ではないかという危機感を抱いた。</p>
西羅次長	<p>状況の報告をすると、特に影響が出ている鳳鳴高校であるが、今年度から校内に改革チームをつくり有志10名若手教職員が協議をされている。昨日、私はそこにオブザーバーとして参加させていただいた。集まっておられる教職員は、危機的な状況はもちろん感じておられる。今までの当たり前を一度取り払い一から積み上げていかなければならないと言われ、これからどんな取組ができるのかを検討されている。その結果、こちらで支援できるものであれば、報告や相談がされると思う。その活動を応援し盛り上げたいと思う。</p> <p>数値の公表については、効果的な方法として考えていきたい。</p>
稲山部長	<p>垣内委員からのご意見について、中学校と高校の連絡が途絶えていたことから、まずはその連絡を密にさせてもらい、更に地域の皆さんにもご理解をいただいたり、応援をいただいたりという方向が出ればそういうことも必要であると考えている。まず今の段階では中学校と高校の連絡をより密にしていきたいと考えている。それだけでは十分ではないと思うので、今後どういう方策がいいのかを、教育委員会で中学校と高校のご意見を聞きながら、市内高校への進学率が元に戻るように取り組んでいく。0歳から高校まで市内で良い教育を受けられる環境を整えたい。</p>
丹後教育長	<p>危機感を中学校・高校だけではなく、市全体として共有する必要性を感じているので、機会があるごとにブログをはじめいろんなところで、市内で高校までしっかり学べる環境を整えていきたいと発信している。ただ数値の公表は、各高校の数値を公表すると、定員割れが大きい学校は人気がないというイメージにつながる可能性もある。決してそうではない。諸事情により定員を割ったとしても各高校は素晴らしい教育をしておられるのに、定員を割っているからそこは駄目だと取られかねないので、各校個別の数値というのは慎重に取り扱いたい。3高校は特色ある教育を展開されており、あとは発信力であると考え。そこも今動き出しているので、中学校長会もできるだけ後押しをする。最終的に、進路は中学校生徒や保護者が決定するものであるが、3高校とも一体となって素晴らしい教育をされているので、できれば市内で高校までというのは思っており、その方向に向けて今動き始めたところである。今後いろんな方策を考えながら進めていきたい。</p>
丹後教育長	報告 9「東京オリンピック・パラリンピックホストタウン献立の提供について

	て」学校給食センター報告を求める。
酒井所長	《議案書に基づき報告》
山本委員	コロナ禍のなか、オリンピック・パラリンピックへの興味や外国への理解を深めるために、特別な給食献立を提供いただき、素晴らしい取組に感謝する。当日の給食には、教職員からも献立についての話題提供もお願いしたい。
酒井所長	「ランチタイム」というチラシを作成しているので、教職員へも活用し話題提供してもらうよう依頼する。
丹後教育長	報告 10「丹波篠山市学校評議員及び丹波篠山市認定こども園評議員の委嘱について」こども未来課報告を求める。
竹見課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	私は事務局職員であった時、評議員について、学校運営協議会と一緒にできないかと考えていた。理由として丹波篠山市の場合併設園が多いので、同じ敷地内で一体となった経営ができるのではないかと考えていた。もう1点は、事務が煩雑にもなるからということである。ぜひその研究をしてもらいたい。県教育委員会を通じて文部科学省にも尋ねたら、可能であるという回答も得ている。認定こども園は別であるし、また、園区と校区が異なる西紀みなみ幼稚園は課題があるが、検討してみてもどうか。
竹見課長	教育委員会事務局内部で協議をしていきたい。
西田委員	急なものではなく、いずれという意味である。
垣内委員	以前から酒井委員も言われていたが、学校長と園長の併任について、事務的なことも多くなるので、併任ということで余計に負担が増えているということもある。幼稚園長と校長を分けてもらえば、評議会は分けたままでもいいのではと思う。
西田委員	同じ敷地内に2つの機関があつて、その長が同じ人物である場合、評議員の会では園長は参考のために意見をうかがうだけであるが、それを学校運営協議会の中に組み込めば、園の運営についても地域の方からご意見をいただき、それを校園長が応えるというかたちになる。その結果、市の方針である幼児教育と義務教育を一体としてやっていくということになるので、機能的な面で考えていただけたらと思う。
垣内委員	いろんなご意見もあるし、校園長によっても考えが違ったりもあると思う。ただ市教育委員会としての方針はあつて、その上で校園長に判断をさせていただくというのが良いかなと思う。
丹後教育長	併任には安全上の課題もある。園によっては学校と少し離れているというところもあつて、有事に直ぐに駆けつけられるのかという心配もある。財政や人材も含めて様々な問題があつたり、西田委員が言われたように、併任による幼児教育と義務教育の連携というメリットもある。小学校長も幼児教育

中村委員	<p>を大変勉強されて、スムーズに連携されているので、色々な問題を整理しながら、方針をつくっていかねばいけないと考える。</p> <p>公立園については、協議会を通じて保護者や地域の声を聴く機会があるが、私立園には保護者の声を聴く機会がない。公立と私立で差が生まれないように配慮してほしい。</p> <p>幼稚園時期の保護者同士のつながりは、小学校や中学校で子ども同士がトラブルをしたとき、気さくにコミュニケーションが図れるきっかけになっていると思う。</p>
丹後教育長	<p>報告 11「第 2 次丹波篠山市立図書館ビジョンの策定計画について」中央図書館報告を求める。</p>
小畠館長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
丹後教育長	<p>報告 12「丹波篠山市立田園交響ホール運営委員会委員の委嘱について」田園交響ホール報告を求める。</p>
小林館長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
丹後教育長	<p>報告 13「丹波篠山市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について」総務課報告を求める。</p>
河南課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
丹後教育長	<p>報告 14「新型コロナウイルス感染防止に係る市の対応について」教育総務課を求める。</p>
中野課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
丹後教育長	<p>報告 15「教育長報告」について報告する。</p> <p>それでは、第 3 回定例教育委員会をこれで終了する。</p>